BESTOWS Millingアプリ STL形式のCADファイルから自動でNCプログラムを生成できるソフトウェア

必要なPCスペック

本製品が正常に動作するPCの仕様は下記の通りです.

オペレーションシステム: Windows 10 (64bitオペレーションシステム) CPU: Core i7以上

GPU: NVIDIA製のGPU

メモリ: 16GB以上 ストレージ: SSD 250GB以上

※事前に必要なソフトウェア環境
•NVIDIA CUDA Toolkit
•Microsoft .NET 8.0 runtime
•Visual Studio Installerから「C++によるデスクトップ開発」をインストール

起動画面



回転軸を1軸使用して、一体ものの形状を加工するモード



Z軸正方向からの エ具アプローチによる 3軸加エモード



金型製作に特化した 加エモード



<u>画面概要</u>



モデルの描画エリア



<u>①モデルの選択</u>	WildBoreV3_Rot Remesh.stl	L形式のCAD にドロ	ファイルをここ ップ
	CAM CAD 製品形状設定 STL 拡大倍率 1.00 STL ダートル ・ ジメートル 中イルをここへドロップしてください.	<mark> </mark>	
	加工範囲を限定する(z値) 0.0 ~ 999.0 加工条件 <u>加工条件</u> 材料直径[mm] 120.0	被削材表示(ヘミュレーション用) Simulation ←前工程 次工程 → 解析設定 トレランス[mm](荒) 0.2	STLの単位系を確認して 問題なければ, チェック ボタンを押してください.
	 ✓ ON: 島加工のような走査線加工 / OFF: 通常の走査線加工 Z下降送りオーバーライド% 70 アプローチ ✓ 傾斜ジ が ザ が アプ ローチ 工具経路 座西非加工高(mm) 	トレランス[mm](仕) 退避高さ[mm] 1.0 ✓ GPUを使用する マシン設定	
	加工深さ[%] 0.0 加工深さ[%] 60.0 0,180方向:0.0mm 90方向:0.0mm (1) 側面4面加工 ^V 2面限定 VI7かド省略バス 加工ジミュレーション	 テーブ・ル回転(Modia_LCCRC) テーブ・ル回転(A軸回転) テーブ・ル回転(BrotherM200X) テーブ・ル回転(Ctâu,Y+アブ・ローチ) 	
	ロポッ年前の出力のみ 差り速度F 素材の初期化 円筒素材 省ェアカットNC出力 クボ電[mm] の、5 ・ 加工ジミュレージョン	開発者モード	

②加工条件の設定



CAM CAD					
製品形状設定				× 77° Yt	ーションの終了
STL 拡大倍率 1.00	STL 単位	● メートル ● ミリン Z系	x-+1r	描画コントローノ	b
C:\Users\nishi\D モデル \WildBoreV	ownload: 3RotRem	s\0.CAD esh.stl		STL Mesh	
			\checkmark	▼工具経路	
Xmin:0.0, Ymin:0).0, Zmin	:0.0, Zmax:148 2		被削材表示()>:ュ	レーション用)
加工範囲を限定す	する(z値)	0.0 ~ 999.		Simulation	
加工条件				← 前工程	次工程 ⇒
				解析設定	
🖌 🔪 加工象	€件	材料直径[mm] 12	20.0	ŀレランス [mm](荒)	0.2
✓ ON: 島加工のような	走査線加口	C / OFF: 通常の走査線カ	ΩI	トレランス [mm](仕)	0.10
ℤ下降送りオーバーラ	ライド%	70		退避高さ[mm]	1.0
アプローチ 🔽 👰 🕯	l stがががご	77° n- 1		✓ GPUを使用する	
工目 经 改				マシン設定	
上六 任 H	••			● ^ッド回転(ポール球	中心が指令点)
	0.0	0 400+++		● テープル回転(Mo	dia_ICCRC)
加工滞2[%]	60.0	0,180万间:75.6mm 90方向:73.8mm		● テープル回転(A軸	回転)
回 側面4面加	ΠI	✔2面限定		● テーブル回転(Brot	therM200X)
		✔ェアカット省略バス		● テープル回転(C軸	,Y+アプロ−チ)
加工シミュレーション				Z下降時送り速度	を使用する
ロボット用の出力のみ	送り速度F				
素材の初期化	200	●加工シミュレー	2-22	開発者モード	
円筒素材	分解能[mm]		/=/		
省ェアカットNC出力	0.5				

「加工条件」ボタンを 押してください.

②加工条件の設定

加工条件設定画面で、使用する工具に応じた切削条件を設定してください。 ※異なるタイプの工具を用いて複数工程を実施することができます。 工具経路は前工程との削り残しのみを自動で判別した工具経路が生成されます。



②加工条件の設定



裂品形状設定	X
STL 拡大倍率 1.00 STL 単位系 ● メートル ● ミリメートル	描画コン
C:\Users\nishi\Downloads\0.CAD	
	V = 0.470
Xmin:0.0 Ymin:0.0 Zmin:0.0	- 工具経路
Xmax:126.0, Ymax:123.0, Zmax:148.2	被削材表
加工範囲を限定する(z値)0.0999.0	Simulati
四工条件	← 前工
	解析設定
・ 加工条件 材料直径[mm] 120.0	<i>١</i> ν٦٧٦ [m
ON: 島加工のような走査線加工 / OFF: 通常の走査線加工	Ͱ Ϸランス [m
2下降送りオーバーライド% 70	退避高さ[
	⊻ _{GPUを使}
	マシン設
	● ^ッド回転
	 <i>¯</i>−[¬] ル□
[山上深さ[%] 60.0 0,180万间:75.6mm 90方向:73.8mm	テーブ ル回
□ 側面4面加工 ^{✓ 2} 面限定	 <i>ī</i>−7[™] <i>ī</i>
▲ IfbyF省略A 人	● テーブル回
ロエッミュレーション	Z下降時
ロボット用の出力のみ 送り速度	門改士工
素材の初期化 200	開光有し
11両条約 省ェアカットNC出力 0.5	



被削材のサイズ(円筒材料 を想定)を入力してください.

荒加工で島加工のような工具 経路にしたい場合はチェックを してください. 単純な走査線経路にしたい場 合は、チェックを外してください.

金属材料を加工する場合には, 工具が材料に対してまっすぐ アプローチすると工具負荷が 大きくなるため, ジグザグでア プローチします.

③工具経路の生成



製品形状設定				-	י דד 🗙
STL 拡大倍率 1.00	STI 単位	L • メートル 立系	• ミリメートル		世面コントロー
C:\Users\nishi\	Download	s\0.CAD			
モデル \WildBore	V3RotRem	1esh.stl	_		STL Mesh
			\checkmark		▼工具経路
Xmin:0.0, Ymin Xmax:126.0, Yn	:0.0, Zmin 1ax:123.0,	:0.0, Zmax:148.2			被削材表示(>
加工範囲を限定	Eする(z値)	0.0 ~	999.0		Simulation
加工条件					← 前工程
					解析設定
🔪 加工	条件	材料直径[mr	^{n]} 120.0		トレランス [mm](芳
		エノヘロ 済金の	大約ちって		トレランス [mm](
- ON: 島加工のよう	は正宜緑川-	エ / OFF: 通常の ²	E宜線加工	1	退避高さ[mm]
ℤト降送りオーバー	-715%	70		/	✓ CDUを使用する
アプローチ 🗸 🖞	斜ジグザグ	77° n- 1			コンショル白
工具経路					マンノ設定
底面非加工高[mm]	0.0				
加工深さ[%]	60.0	0,180方向:75 90方向:73	. 	_	● テーブル回転(M
	to T	✔2面限定			● テープル回転(Br
	께ㅗ	✔ エアカット省略パス			● テーブ#回転(Ci
加工シミュレーション					Z下降時送り速
ロボット用の出力のみ	送り速度F	_			_
素材の初期化	200	● 加丁:	ソミュレーション		開発者モード
円筒素材	分解能[mm]				
省ェアカットNC出力	0.5				

¹ x I Z → x I

ケーションの終了

a ICCRC)

₽.Y+アプローチ)

オ料の天面から加工したい深 さを指定してください.

側面の4方向からの加工で一体ものの加工を行いますが、表 裏の2面で加工が足りる場合は、 2面限定にチェックしてください。

「側面4軸加工」を押すと解析が始まります.

③工具経路の生成

CAM CAD		
製品形状設定 STL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ジメール	╳ アプリケーションの終了	
拡大信率 単位系 C:\Users\nishi\Downloads\0.CAD モデル\WildBoreV3RotRemesh.stl	描画コントロール STL Mesh	
モデル\WildBoreV3RotRemesh.stl ✓ Xmin:0.0, Ymin:0.0, Zmin:0.0, Xmax:126.0, Ymax:123.0, Zmax:148.2 ▲加工範囲を限定する欠約 0.0 ~ 999.0 加工条件 ✓ 加工条件 材料直径[mm] 120.0 ✓ ON: 島加工のような走査終加工 / OF: 加上の走音終加工 Z下降送りオーバーライド% 70	STL Mesh ▼ 工具経路 被削材表示(シミュレーション用) ▼ Simulation ← 前工程 次工程 ⇒ 解析設定 ↓レランス[mm](荒) 0.2 ↓レランス[mm](仕) 0.10 退遊高さ[mm] 1.0	解析が始まると形状解析が始まり、工具経路を生成しながら、 形状シミュレーションを行います この解析によりエアカット領域を 判定して無断な加工経路を省 略した効率のといて見経路が
アオローチ ダ 供給シ グ ザ グ 77 ローチ 工具経路 応面非加工高[mm] 0.0 加工深さ[%] 0.0 0,180方向:75.6mm 90方向:73.8mm ✓ 2面限定 ✓ 17カッド省略パス 加工ジ: 14-9/31/	 GPUを使用する マシン設定 ^¬/*回転(ポール球中心が指令点) テ-ブ*ル回転(Modia_ICCRC) i テ-ブ*ル回転(A軸回転) i テ-ブ*ル回転(BrotherM200X) i テ-ブ*ル回転(C軸,Y+アプローチ) 	生成されます。
Dボット用の出力のみ 差材の初期化 円筒素材 省17かりFNC出力 ジリ速度F 200 分解置[mm] 0.5	常先者于ド	



③工具経路の生成

名前	更新日時	種類
~ 先月		
Prc1_WildBoreV3_RotRemesh_NC1.txt	2024/06/14 14:50	TXT ファイル
Prc0_WildBoreV3_RotRemesh_NC2.txt	2024/06/14 14:47	TXT ファイル
Prc0_WildBoreV3_RotRemesh_NC1.txt	2024/06/14 14:46	TXT ファイル
~ かなり前		
WildBoreV3_RotRemesh.stl	2023/07/03 11:24	3D Object

生成された工具経路はNCプログラムに変換された テキストファイルとして入力したSTLモデルと同じ フォルダ内に出力されます.

ここで生成されたNCプログラムをNC工作機械に移して実行することで加工ができます.

解析後の描画の確認



STL Meshのチェックの切り替え で元のSTLモデルの描画と形状 解析の結果の表示を切り替える ことができます.

※形状シミュレーションの座標 系はSTLモデルの座標系とこと なっています。

※形状解析の結果を表示する 際には、Simulationのチェック が必ずONになっていることを確 認してください。

上面3軸加エモード,金型加エモード



上面3軸加エモード,金型加エモードも基本的 な操作は同じです.

①STL形式のCADモデルの入力 ②加工条件の設定 ③工具経路の解析

